

“人工関節センターのホームページをご覧ください”

インターネットは、あらゆる情報に簡単にアクセス出来るのがメリットです。その反面、情報は氾濫し、どの情報が正しく、どれが間違っているかを見極めるのは、専門家ですら非常に難しい時代になっています。

当センターとしましては、むやみな宣伝目的のホームページでは無く、関節の病気や人工関節の説明を含めた内容を一般の方々にも分かり易く作成しました。

相原病院のホームページからリンクされていますが、**Yahoo**や**グーグル**から「相原」「箕面」「人工関節」などのキーワードで検索できます。

ホームページはあくまで一般的な情報です。すべての病気には個人差があり、通常の治療で対応可能な場合と、特殊な治療を要する場合がありますので、詳細は主治医にご相談ください。

URL: <http://aiharajoint.com/>



センター長の海外探訪記 “宮古島の巻”

さて、今回は国内です。最近、航空券の値段が安くなり、夏のみならず暖かい冬のリゾートとして知名度が上がり、沖縄本島や離島への観光客が増えています。

特に、年に何度も訪れるリピーターが増えており、若者だけでなく熟年の方々にも人気があります。

宮古島は那覇空港から約45分かかりますので、意外と離れています。山の無い島で、周りは珊瑚礁と白い砂浜に囲まれたのんびりした島です。シュノーケリングで多くの熱帯魚や、運が良ければ海亀に会えるスポットもあり、ダイバーにも大人気ですが、逆にその自然以外には特別な観光地がある訳ではありません…。

私は毎年、カイトサーフィンというマリンスポーツを仲間達とやりに行くのですが、風が吹かなく、それが出来ない時でも、宮古そばを食べてるだけで時間の経過がゆっくりと感じられ、心休まるのんびりした良い島です。



➤ 人工関節に特化した「人工関節センター」と乳がん診療に特化した「プレストセンター」を開設しており、より高度な専門医療を提供しております。

➤ 関節外来：岡 史朗 月・火・水曜午前9時から12時

➤ 関節外来：相原雅治 水・木・金曜午前9時から12時

➤ 脊椎外来：加藤泰司 隔週火曜 午後4時半から7時

➤ スポーツ外来：橘 優太 金曜 午後4時半から7時

➤ 理学療法士：岡本浩明・樋口慧・平田明日香

➤ 受付時間：平日午前9時～11時半、午後4時半～6時半

(水曜夜診休診)

土曜午前9時～11時半 (祝日休診)

相原病院・人工関節センター tel. 072-723-9000

箕面市牧落3-4-30 fax. 072-723-9052

ホームページ: <http://www.aiharahp.com/>

この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にファックスでお伝えください。

「ぶらな」

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

“明けましておめでとうございます!!”

平成24年の人工関節置換術の手術件数は、昨年より大幅に増加し、172例となりました。この手術数は北摂地域のみならず、近畿圏でも有数の手術数になります。人工関節に加えて、大阪大学整形外科・スポーツクリニックとの連携で関節鏡の手術も開始しました。

しかし、手術件数の増加を我々は目的としておりません。あくまで、“関節痛で苦しんでるひとりひとりに我々の出来るベストを尽くす”を今年も目標として切磋琢磨していきたいと考えています。

“スポーツ整形外科部門をスタートしました！”



昨年の7月より、大阪大学・スポーツクリニックとの連携で、関節鏡(関節の内視鏡)を使用しての関節内手術を開始しました。

一般的に、スポーツで障害を受ける関節で最も頻度の多い関節が膝関節です。

膝関節の安定性を保つための重要な「前十字靱帯断裂」や、「半月板損傷」の手術が中心となり、その他のスポーツ障害の治療も行っています。ただ、肩関節鏡や股関節鏡は今のところ行っておりません。

十字靱帯は関節内に存在し、他の関節外の靱帯と異なり断裂した場合は、基本的に自然治癒が非常に困難な組織です。ギプス固定や靱帯の縫合では治癒しませんので、膝関節周囲の他の組織(半腱様筋・半膜様筋や膝蓋腱)を移植する「再建術」の手術が必要となります。半月板損傷は可能であれば「縫合術」、損傷が大き過ぎると「切除術」を行います。フィギュアスケートの高橋大輔選手は前十字靱帯と半月板の手術&リハビリ後にバンクーバーで見事銅メダルに輝いた事は有名です。

外来に関しては、毎週金曜の夕方16時半から19時(受付は18時半まで)に大阪大学の橘 優太医師が“スポーツ外来”を行っています。主に当院での手術の術前・術後診察を中心に一般外来も行っています。

MRI検査に関しては、他の診療所や中小規模の病院と同じく外部施設での検査となります事を、ご了承ください。

相原病院・人工関節センター新聞
第九号
2013年1月吉日



近隣病院の 人工関節手術数 (平成23年度)

病院名	症例数
相原病院(H24年度)	172
(H23年度)	142
(H22年度)	136
箕面市立病院	32
ガラシア病院	87
市立豊中病院	80
市立池田病院	64
国立刀根山病院	43
宝塚市立病院	27
市立川西病院	25
済生会千里病院	46
北野病院	111
大阪医科大学病院	114
高槻赤十字病院	85



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service



“日本股関節学会で発表して”

看護師 山下 鈴美

あけましておめでとうございます。
皆様にとって良い年となりますようお祈り
申し上げます。

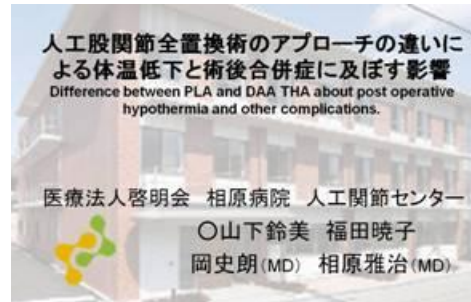
早速にはなりますが、一昨年に引き続き昨年も
日本股関節学会で発表しましたのでご報告です。
場所は新潟、皆様は何を想像されますか？

温泉や美味しい郷土料理、数多くあるようです。
しかし、私にはそれを楽しみにするところのゆとりはありませんでした・・・
なぜなら、研究発表や質疑応答が待っていたからです。中でも質疑応答は、私の発表
に対して質問してくる内容の本質をとらえ、それに対し相手を納得させる返事を
瞬時に返さないといけません。これは、自分に自信がないと出来ません。私ははじめ、
研究に参加しない？と声がかかった時、返事をするのにとても時間がかかりまし
た。それは、自分にできるとは思えなかったからです。
けれど、できないから、やりたくないからを理由にしくなく、「自分をブラッ
シュアップするきっとチャンスになるはず！」そうなるように頑張ってみようと思
い看護研究することを決めました。

読んでいて気付いた方もいらっしゃるかもしれませんが私は説明が得意ではあり
ません。そのため、質疑応答が不安でたまらなかったのですが、看護研究は、筋道
を立て、相手に伝わるように説明していきます。そしてそのプロセスは、研究だけ
でなく日々の会話や知識を深めていく流れにも共通します。センター長である相原
雅治先生が私がどうしようかと悩んでいた時、“どんなことも経験、してみないと
できるようにはならないよ”と背中を押して下さいました。研究や発表を経験した
ことで、以前よりも少しでも変わっていたらいいなと思います。

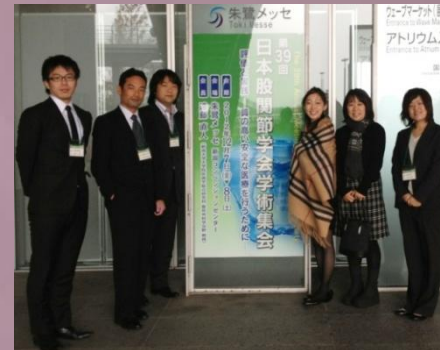
私が新潟出発前の追い込みの時に感じたことがあります。
それは新潟の現場でも感じましたが、“チーム相原”という結束の強さです。
少しずつではありますが出来ることを増やし、恩返ししていきたいなと思いました。
医師部門の発表や質疑応答は、レベルが違います！落語のように聞いているだけで
言葉のかっこよさや軽快なテンポに胸がドキドキしてきますし、質疑応答では、自
分がしてきた手術に自信を持って意見されていて、ひとつひとつの手術を真剣に、
本当に大切にされていることが伝わってきました。見ていてとてもかっこよかったです。
程遠い目標ですが、近づいていきたいなと思いました。

最後になりましたが私が発表した内容は、人工股関節手術の手術中の患者様の体温
についてです。進入方法によって手術時の姿勢が異なり、体温に差が生じている
ことがわかりました。そこで、同じように温められないかと思い調べ、特殊なシー
トを使用し工夫をした結果、成果が出たのでそのことについて発表
してきました。病棟でも、手術の後寒くないように気を付けて
います。手術室でも体温が下がらないように気を付けています。
手術から目が覚めた時、寒さや震えを少しでも感じられませんよう
に、今回の成果を今後の看護役立てていきたいと思います。



“初めての学会発表をしてきました！！”

理学療法士 樋口 慧



昨年12月7・8日に新潟は朱鷺メッセ新潟コンベンシ
ョンセンターにて第39回日本股関節学会が開催されまし
た。私は理学療法士の資格を取得して6年になりますが、
今回の学会が初めての学会発表の機会となりました。
遡ること約1年。研究のテーマを決め、データ収集、整
理、解釈などなど、すべきことが山の様に。そんなこんな
で学会まで残すところあと数日というのに、まだ発表用資
料が完成できず.....。

諸先生方にも深夜まで付き合っ頂き、修正に次ぐ修正！相原先生にOKをもらえたのが
なんと出発の前日。先生も発表があるのに、大変大変お世話になりました。

発表当日、全国から集まれた先生方の前に立つのは緊張しましたが、相原病院・人工
関節センターを代表して！（勝手にプレッシャーを感じていました（笑））という気持ちで演台
に立ちました。人前でお話しをするのは嫌いではなかったもので、
落ち着いて発表することができました。発表を終えて、ほっと一息、
おなかが鳴りました（笑）。お昼に食べた海鮮丼の美味しさは忘れ
られません！！

今回の学会を通して、研究についてはもちろん、臨床業務に
おける知識の整理や補充をする、他の発表者から新しい視点を
得る等々、様々なことを経験し、学ぶことができたと感じていま
す。研究にご協力頂きました諸先生方及び、患者様には貴重
な経験をさせて頂きましたこと、大変感謝しています。



“行ってきました！日本股関節学会@新潟”

理学療法士 岡本浩明

今年も日本股関節学会へ参戦して参りました！！

当センターの理学療法部門のレベルアップのため、また皆様へより良い&意味あるリハビリ
を提供できるように、日々の疑問を研究という1つの形にして発表して参りました。

なのに、何の仕打ちか全国ニュースにもなるほどの豪雪に見舞われ、飛行機は欠航、、、
『まだまだ努力が足りんということかなあ・・・』
なんて思いながら、陸路に変更。で、上越新幹線の
駅に着いたら、“落雷による架線事故の為、新幹線
は運休になっております！”との放送が・・・

寒い駅で数時間待ってたら、何とか運転再開され、
超満員の新幹線で東京まで立ちんぼ。東京からは
やっと座れ、無事新大阪に着きました。

今年も気を引き締め、しっかり地に足をつけて日々
精進して参りますので、宜しくお願い致します！！

